

専門図書館協議会 2023 年度全国研究集会概要（7月26日～27日）

時間	内容
7月26日 (水) 第1分科会 【1-1】 13:00-14:05	★オープニング挨拶 13:00-13:05 基調講演「危機下での図書館活動」 講 師：山本英里氏（シャンティ国際ボランティア会事務局長） “本を通じた学びが生きる力となり、その生きる力が心の平和を育み、やがて未来を拓く”という理念のもとで、図書館活動を基軸のひとつとして、アジア諸国で教育文化支援、緊急人道支援を続けるシャンティ国際ボランティア協会の山本事務局長様にこれまでの同会の取り組みについてお話しいただきます。紛争、貧困、自然災害など、危機下にある国々において、難民やマイノリティなどの困難な立場で暮らす人々に、図書館・学校という居場所を創り、運営していくことの意味を、活動の写真や録画を交えながらご報告いただきます。
第2分科会 【1-2】 14:10-15:10	テーマ：専門図書館の「レファレンス協同データベース」入門&活用 講 師：佐々木 良太氏（国立国会図書館関西館図書館協力課協力ネットワーク係 副主査） 木村 素子氏（公益財団法人日本海事センター 海事図書館 主任司書） レファレンス協同データベース（レファ協）は、国立国会図書館と全国の図書館が協同で作る調べ物のためのデータベースです。本分科会ではレファ協の概要紹介と参加館による事例発表を通して、専門図書館のサービスの質やプレゼンスの向上にも役立つレファ協の「使い方」をご紹介します。また「参加するのって大変なのでは？」 「参加はしたけど活用できていない」といった疑問やお悩みにこたえる相談タイムも設けます。
第3分科会 【1-3】 15:20-16:20	テーマ：資料保存「図書館の資料保存マネジメントの理論と実践」 講 師：矢野 正隆氏（東京大学経済学部資料室） 媒体の種類やアクセスの在り方が多様化する現代の環境において、図書館の大きな使命である「資料の長期的アクセスの保証」を果たすために、いったい何が必要とされているのか。理論的動向とその現場での適用を踏まえて、改めて考えてみたい。
第4分科会 【1-4】 16:25-17:25	テーマ：公文書管理「アーカイブズのその前に：アーキビストが関与する前に勝負はついていた」 講 師：大蔵綾子氏（鶴見大学文学部ドキュメンテーション学科非常勤講師） アーカイブズは民主主義の根幹を支える国民共有の知的資源です。そのためには、専門職員であるアーキビストが歴史的価値を有する文書を判断し、文書館に移管させることが肝要です。しかし、国の行政機関では、行政文書を国立公文書館に移管させないための措置を講じる例が少なくありません。本分科会では、移管させたい側（国立公文書館等）と移管したくない側（国の行政機関）双方の勤務経験をとおして得た事例を紹介しつつ、公文書管理の課題について考えます。
7月27日 (木) 第5分科会 【2-1】 13:00-14:00	テーマ：「本のある居場所とLGBTQ」 講 師：村木 真紀氏（虹色ダイバーシティ理事長） 虹色ダイバーシティが運営するプライドセンター大阪は、大阪の天満橋にある常設LGBTQセンターで、LGBTQに関する書籍をあつめたミニ図書館を併設しています。 図書館の運営に関するお話しを聞きつつ、LGBTQの性的マイノリティやその家族、そして支援者であるアライを取り巻く環境についても学び、図書館が誰もが自分でいられる場所となるための気づきの機会となればと思います。
第6分科会 【2-2】 14:05-15:35	テーマ：「図書館等公衆送信サービスについて」 講 師：松崎宏樹氏（国立国会図書館 利用者サービス部 サービス企画課 課長補佐） 特定図書館等による図書館資料のメール送信が可能となる著作権法の改正がされ、2023年6月1日から施行が予定されています。図書館員として特定図書館等の要件、補償金の算出方法、送信資料の不正拡散防止策、等を理解し利用者に周知することが求められます。 運用開始に向けたガイドラインの検討に関わってこられた松崎様から、改正された内容やガイドラインについて伺います。
第7分科会 【2-3】 15:45-17:15	テーマ：「人と地域と本をつなぐ、新たな場の創生—公共図書館の現場から」 講 師：宮原 佑介氏（石川県立図書館 利用推進課） 志賀 アリカ氏（小布施町立図書館 館長） 小宮山 剛氏（椎葉村図書館「ぶん文 Bun」） 地域や人を巻き込んだ活動で commons の機能を果たし、知識情報の拠点として多様な利用者の集う新たな居場所を提供する図書館が増えてきました。本分科会では、個性的な活動で注目を集める公共図書館3館にスポットを当て、ゾーニングや配架の工夫、人の集まる仕組みづくりなど、「場の創生」をテーマにお話しいただきます。
オンラインサロン 17:30-18:30	オンラインサロン ※参加費無料 参加者を中心とした交流の場を設定しました。再度のご入場が必要になります。